

吟遊・夏石番矢賞二〇一六

Ginyu Ban'ya Natsuisshi Prize 2016

古田嘉彦 Yoshihiko FURUTA



略歴

一九五一年埼玉県生まれ。一九九〇年頃から作句を始め、「海程」会員、現代俳句協会会員となり、その後「豈」に参加したが、その後いずれも退会した。阿部完市に私淑し、「現代定型詩の会」の通信句会に参加したが、阿部完市の没後退会。「LOFUS」創刊同人となり、二〇一二年より俳句雑誌「吟遊」に参加し、現在に至るまで同人。句集に『虹電鈔記』（風蓮社、2006年）と『純粹雨期』（呂書林、2011年）がある。

授賞理由

俳句創作による現代日本語の果敢な実験。

授賞作

●「吟遊」第六七号（二〇一五年七月）
唇が変形してできた金魚ごとの秘密
花を踏むための靴 紙で作った
五線譜を木の発達のメモに使う

●「吟遊」第六八号（二〇一五年十月）
罌粟畑焼きつくしても滑走やめず
電飾垂らしフラミンゴに近い前屈み
日に五本の鉄道が怯える糸状化

●「吟遊」第六九号（二〇一六年一月）
抑えきれない鳥 全部糸は切った
伸縮自在の駅員が悩まされる白鯨
氷水で猫を洗う夜の高さ

●「吟遊」第七〇号（二〇一六年四月）
信じがたいほど多くの足跡売る屋台
点在するダリアを水で薄めたら思い出
あぶりだしの樹の絵左右非対称の室町
めまいして水溶性の晴れ着が激しい